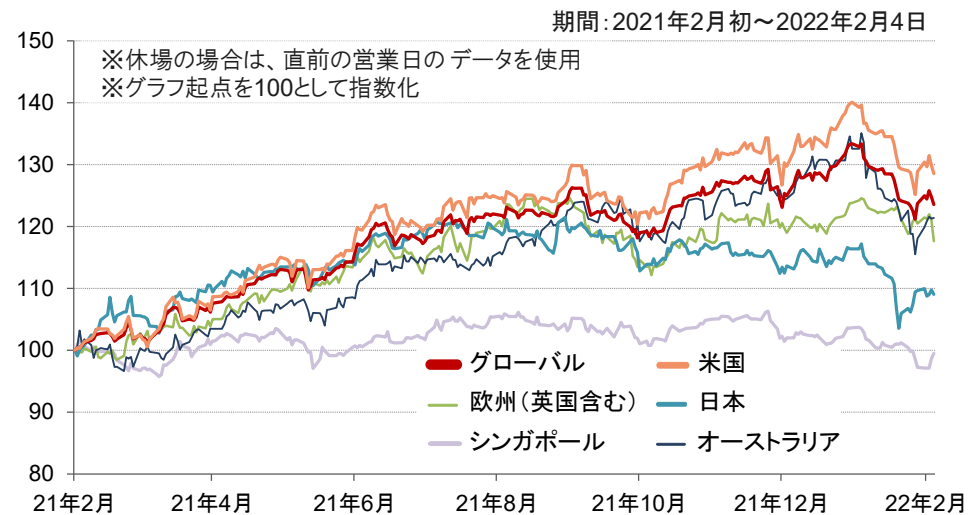


先週(1月31日～2月4日)のグローバルREIT市場の動き

先週のグローバルREIT市場は、前週末比では▲0.1%となりました。引き続き主要金融当局による金融政策の正常化に向けた動向が注視される中、FRB(米連邦準備制度理事会)高官からの3月の利上げに慎重な発言が安心材料となったものの、一方でECB(欧州中央銀行)総裁が年内の利上げを否定しなかったことなどを背景に、各国・地域でまちまちな動きとなりました。

- 米国REITでは、複数のFRB高官が3月のFOMC(連邦公開市場委員会)での利上げに対して慎重な見方を示したことで、金融引き締めに対する懸念が一部後退したものの、週末には、英国の利上げやECB総裁のタカ派発言などを受けた長期金利の上昇などが重しとなりました。セクター別では、米国内でオミクロン株の感染者に減少がみられたことが好感された宿泊施設などがプラスに寄与しました。
- 欧州(ユーロ圏)では、ECB総裁が、これまで否定してきた年内の利上げの可能性について「データ次第」と答えて、否定しなかったことを受け、4日にかけてドイツや南欧諸国を中心に国債利回りが急上昇しました。REITは、小売大手を中心に大きく下落しました。

各国・地域のREIT価格の推移



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

● 2022年2月4日時点(1週間前=1月28日、3ヵ月前=2021年11月4日、6ヵ月前=8月4日、1年前=2月4日、3年前=2019年2月4日) なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

国・地域	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
グローバル	731.94	▲0.1	▲2.3	1.7	22.6	27.2
米国	1,798.21	▲0.2	▲1.7	3.8	27.4	34.9
カナダ	1,475.24	1.1	▲3.1	3.8	26.8	28.6
欧州(ユーロ圏)	591.36	▲4.4	▲6.8	▲8.5	10.3	▲10.4
英国	105.63	▲0.9	▲0.2	0.9	24.3	22.6
日本	514.26	▲0.6	▲6.7	▲8.5	8.5	17.5
香港	856.93	0.4	▲0.4	▲7.1	4.6	▲12.7
シンガポール	735.26	2.3	▲5.3	▲6.0	▲1.4	12.1
オーストラリア	1,029.01	2.8	▲2.9	4.4	20.3	28.0

為替(対円)	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
米ドル	115.26	0.0	1.3	5.3	9.2	4.9
カナダ・ドル	90.36	0.1	▲1.1	3.5	9.8	7.8
ユーロ	131.96	2.6	0.4	1.8	4.5	5.0
英ポンド	156.03	1.0	1.6	2.6	8.1	8.9
香港ドル	14.79	0.0	1.2	5.1	8.7	5.7
シンガポール・ドル	85.63	0.7	1.7	5.7	8.5	5.4
オーストラリア・ドル	81.53	1.2	▲3.1	0.9	1.6	2.7

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

- 当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
- 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。